

平成31年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告

法人理念

利用者・家族・職員の3つの笑顔を大切に地域に根ざした施設づくり

利用者さんの笑顔は良質なサービスを提供することによって生まれ、家族の笑顔は安心して介護を依頼できることによって生まれ、職員の笑顔は福祉というやりがいのある仕事を通じて得られる充実感から生まれ、それらの活動を通じて地域福祉を推進していくという意味が込められております。

利用者の尊厳ある生活を守り継続する施設づくり「生存」から「生活」へ

利用者の「食べる」「寝る」「排泄」「入浴」といった単なる「生存」のためのサービス提供で終わるのではなく、利用者が「学ぶ」「遊ぶ」「話す」「創造する」「安らぐ」といった生存を超えた「生活」行為を支援するためのサービスを提供することによって、利用者の尊厳ある生活を守り継続していくことができます。介護の視点を「生存」から「生活」へと変えることにより、利用者が地域のなかで尊厳ある生活を維持しながら、生き生きと生活できる施設づくりしていくという意味が込められております。

運営方針

- ・ 制約をなくし、利用者の自己決定の尊重をサービス提供の視点とする
- ・ 高齢者の地域生活を支える拠点を目指す
- ・ 小中学校や地域の行事を通じて地域の人々と交流を図る
- ・ 第三者のサービス評価を受け、運営の改善に努める

令和元年度、法人事務局においては、5回の理事会4回の評議員会を開催し様々な議案を審議しました。議案の1つとして、経験・技能のある介護職員等の処遇改善をするために特定介護職員処遇改善手当の支給することとしました。新規整備事業について継続的検討を実施しました。

管理課においては、各事業において計画的に職員採用を行い安定した事業運営に努め、質の高いサービス提供を行う等を目的とした人員配置計画を策定しました。

生活課においては、納涼祭の時期及び名称を変更し10月19日にむさしの秋祭りとして行い、利用者さんに喜んでいただきました。

地域課においては、デイサービスでは毎日のリハビリを提要するために機能訓練指導員を採用しました。ヘルパーにおいてはヘルパー会議を開催し職員の資質向上を図りました。居宅では医療職との連携を図り、平時・入院時・入院中・退院時の場面において情報把握に努め、主治医（医療機関）と「顔のみえる関係づくり」に努めました。包括では4つの柱事業の他、生活支援体制整備事業等を引続き実施しました。

地域支援課においては、特養ではユニット玄関の設えを行い、小多機では訪問サービスが特徴になり始めています。居宅、包括では本体同様に事業を実施しています。

栄養課においては、厨房内の改修工事を行い働きやすい環境づくりをしました。

法人事務局、各課が実施した事業について以下に報告します。

1 法人本部

総合目標及び課題

- ・社会福祉法改正への継続的対応かつ介護報酬改定への対応を実施します。

重点目標及び課題	具体的取組み
<p>(1) 新規事業の検討</p> <p>(2) 役員会等 監事監査</p> <p>理事会</p>	<p>① 高齢者保健福祉計画の進捗を踏まえ、引続き検討してまいります。</p> <p>5月27日（月）9時30分～11時30分 平成30年度の理事の職務の執行についての監査</p> <p>第1回 6月3日（月）9時30分～11時 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 議案 1. (福)ふじみ野福社会 平成30年度事業報告及び決算報告について 2. 評議員会の招集（案）について</p> <p>第2回 6月22日（土） 16時15分～ 議案 1. 社会福祉法人ふじみ野福社会理事長の互選について</p> <p>第3回 9月14日（土） 15時～ 報告事項 1. 社会福祉施設指導監査について 議案 1. 運営規程一部改正（案）について むさしの（特養 短期入所 通所介護） ひだまり（特養 短期入所（空床型） 小規模多機能） 2. 利用契約書一部改正（案）について むさしの（特養 短期入所 通所介護 訪問介護 居宅） ひだまり（特養 短期入所（空床型） 小規模多機能 居宅） 3. 重要事項説明書一部改正（案）について むさしの（特養 短期入所 通所介護 訪問介護 居宅 包括） ひだまり（特養 短期入所（空床型） 小規模多機能 居宅 包括） 4. 特定介護職員処遇改善手当の支給（案）について 5. (福)ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 6. (福)ふじみ野福社会 就業規則一部改正（案）について 7. (福)ふじみ野福社会パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正（案）</p>

について

8. (福) ふじみ野福社会 第1次補正予算書(案)について
9. ハラスメント防止規程(案)の策定について
10. (仮称) ふじみ野小規模特養計画(案)について
11. 評議員会の招集(案)について

第4回 11月8日(金)9時30分~11時

報告事項

1. 理事長の職務の執行状況について
2. 評議員の辞任について

議案

1. 特定職員処遇改善法人単独手当の支給(案)について
2. (福) ふじみ野福社会 第2次補正予算書(案)について
3. 建物維持管理委託の入札(案)について
4. 紙おむつの入札(案)について
5. 清拭布の入札(案)について
6. 介護保険システムハード一式の入札(案)について
ひだまりの庭むさしの
7. 福祉車両の入札(案)について
8. 評議員選任・解任委員会の招集決議(案)について
9. 評議員候補者の選定(案)について
10. 評議員会の招集(案)について

第5回 月19日(木)9時30分~11時30分

報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. 小規模多機能型居宅介護事業所の実地指導結果について

議案

1. 第3次補正予算書(案)について
2. 建物維持管理委託の入札結果について
3. 紙おむつの入札結果について
4. 清拭布の入札結果について
5. 介護保険システムハード一式の入札結果について ひだまり
6. 福祉車両の入札結果について
7. 介護保険システムハード一式のリース契約締結(案)について
8. 福祉車両のリース契約締結(案)について
9. 特定介護職員等処遇改善手当支給(案)について
10. (福) ふじみ野福社会資格取得支援規程(案)について

<p style="text-align: center;">評議員会</p>	<p>1 1. 運営規定一部改正（案）について むさしの（包括） ひだまり（小多機 包括）</p> <p>1 2. 利用契約書一部改正（案）について むさしの（特養 短期入所 介護予防短期入所 通所介護 第1号通所事業 訪問介護 第1号訪問事業） ひだまり（特養 短期入所・介護予防短期入所（空床型） 小多機・介護予防小多機）</p> <p>1 3. 重要事項説明書一部改正（案）について ひだまり（小多機）</p> <p>1 4. 令和2年度事業計画並びに予算書（案）について</p> <p>1 5. 評議員会の招集（案）について</p> <p>第1回 6月22日（土）15時～16時 議 案 1.（福）ふじみ野福社会 平成30年度事業報告及び決算報告について 2.（福）ふじみ野福社会 理事・監事の選任（案）について</p> <p>第2回 9月21日（土）15時～16時 報告事項 1. 社会福祉施設指導監査について 議 案 1. 特定介護職員処遇改善手当の支給（案）について 2.（福）ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 3.（福）ふじみ野福社会 就業規則一部改正（案）について 4.（福）ふじみ野福社会 第1次補正予算書（案）について 5.（仮称）ふじみ野小規模特養計画（案）について</p> <p>第3回 9月21日（土）15時～16時 報告事項 1. 評議員の辞任について 2. 評議員の選任について 議 案 1. 特定職員処遇改善法人単独手当の支給（案）について 2.（福）ふじみ野福社会 第2次補正予算書（案）について 3. 建物維持管理委託の入札（案）について 4. 紙おむつの入札（案）について 5. 清拭布の入札（案）について</p>
--	--

<p style="text-align: center;">評議員選任解任 委員会</p>	<p>6. 介護保険システムハード一式の入札（案）について ひだまりの庭むさしの</p> <p>7. 福祉車両の入札（案）について</p> <p>第4回 3月28日（土）16時～17時</p> <p>報告事項</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>2. 小規模多機能型居宅介護事業所の実地指導結果について</p> <p>議案</p> <p>1. 第3次補正予算書（案）について</p> <p>2. 建物維持管理委託の入札結果について</p> <p>3. 紙おむつの入札結果について</p> <p>4. 清拭布の入札結果について</p> <p>5. 介護保険システムハード一式の入札結果について ひだまり</p> <p>6. 福祉車両の入札結果について</p> <p>7. 介護保険システムハード一式のリース契約締結（案）について</p> <p>8. 福祉車両のリース契約締結（案）について</p> <p>9. 特定介護職員等処遇改善手当支給（案）について</p> <p>10. （福）ふじみ野福祉会資格取得支援規程（案）について</p> <p>11. 令和2年度事業計画並びに予算書（案）について</p> <p>11月8日（金）11時～11時30分</p>
---	---

2 管理課

総合目標及び課題

- ・人材定着及び計画的な修繕を実施いたします。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材確保・定着	① 法人全体で常勤職員12名、非常勤職員9名採用することが出来ました。
(2) 計画的修繕	① 厨房の床改修工事を行い、安全な職場環境を整備しました。また業務用の真空包装機の入替を行いました。
(3) 介護保険法改正	① 法改正に対応し介護職員等に特定処遇改善手当を支給し、職員の処遇改善を行いました。

委員会

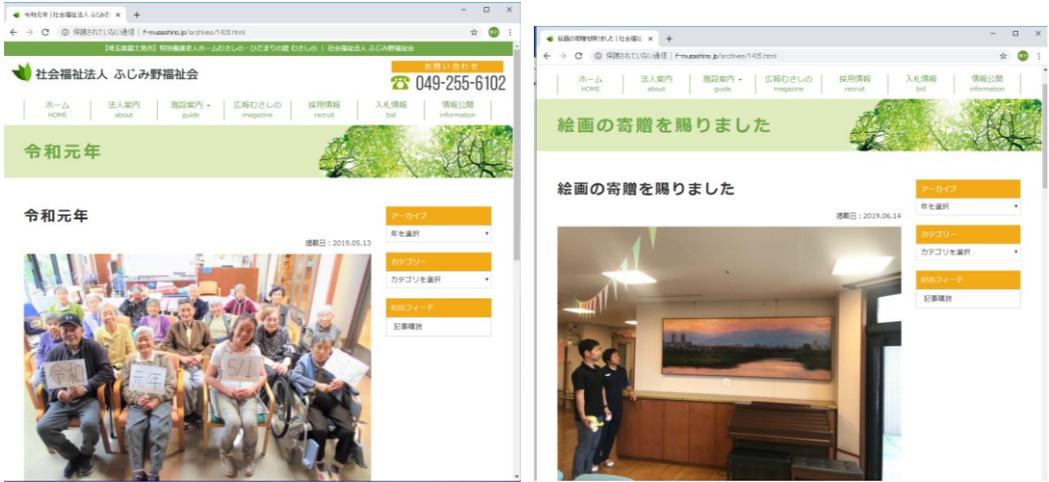
・研修委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 年度別研修の実施	① 年度別研修計画に基づき、計画的に内部研修を行いました。

今年度の研修目標	① リーダー研修を通し OJT に対する共通・理解を促す ② OJT 確認表の使用を進め、意図的・計画的に OJT を実施する				
研修携帯	研修区分・対象	時期	研修内容（テーマ）	担当	評価・フォロー
OJT 職務を通じた 研修	1 日常の OJT	通年	日常指導の徹底	リーダー・副主任	観察評価
	2 意図的 OJT	通年	目標成果シート 職務記述書 行動基準書	リーダー・副主任	目標成果シート
	3 リーダー等による初任者及び 中途採用者の指導	3 か月	① ケアの基本動作 ② チームケアとコミュニケーション		OJT 確認表
OFF-JT 職務を離れての 研修	4 階層別研修（課長・管理者）	6・7・8・9 月	後継人材育成と組織を維持・発展するための体制整備を行う	施設長	アンケート
	5 階層別研修（リーダー）	6・7・8・9 月	現場を統括するために必要な職員及び利用者に対する対人援助技術を学ぶ	施設長	アンケート
	6 内部研修				
	① 身体拘束廃止研修	11 月	身体拘束を廃止するための技術を学ぶ	身体拘束委員会	アンケート
	② 褥瘡予防研修（介護）	9 月	褥瘡を予防するための技術を学ぶ	地域支援課長	
	③ 感染症対策研修	4・10 月	感染症に対する基礎知識を学ぶ	栄養課長	
	④ 事故発生防止研修	6 月	事故発生を防止するための視点を学ぶ	地域課長	
⑤ 入浴事故防止研修	随時	浴室での事故防止の技術を学ぶ	入浴委員会		
⑥ 高齢者の虐待防止研修	5 月	虐待防止に関する基礎知識を学ぶ	身体拘束委員会		
7 入職者研修	入職時				アンケート
① 施設長オリエンテーション		法人全体について学ぶ	施設長		
② 管理課オリエンテーション		就業規則や給与規定等について学ぶ	管理課長		
③ 接遇研修		声かけ方法や対応方法について学ぶ	担当課長・管理者		
④ 防災研修		施設の防災設備等について学ぶ	防火管理者		
⑤ 看護研修		介護現場での看護内容について学ぶ	副主任		
⑥ リハ研修		移乗・移動方法について学ぶ	副主任		
⑦ 他課研修		他課について学ぶ	担当課長		

	8 派遣研修（該当者）	通年	8 社協、老施協、経営協等主催研修		研修報告
SDS 自己啓 発支援 制度	9 資格取得支援研修 ① 介護支援専門員		資格取得に向けて基礎知識を学ぶ	施設長 前年合格者	報告・発表

・広報委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) HP の定期更新	<p>① 職員ブログを定期的に更新し、施設内行事の様子や市内行事への参加について情報発信を行いました。</p> 
(2) 広報誌の充実	<p>② 現場の状況を踏まえて採用情報を都度更新し、職員採用へ活かしました。</p> <p>① 行事写真を多く取り入れ、装飾や配色を工夫する事で季節感のある広報誌を作成しました。また、写真をできるだけ多く掲載するようレイアウトを心掛けました。</p>

・防災委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 防災に強い組織作り	① BCP委員会を立ち上げ、管理者以上の職員にて研修を行いました。
(2) 訓練の実施	<p>① むさしの事業所全体で訓練を実施し、日中帯及び夜間帯想定にて訓練を行いました。</p> 

・衛生委員会

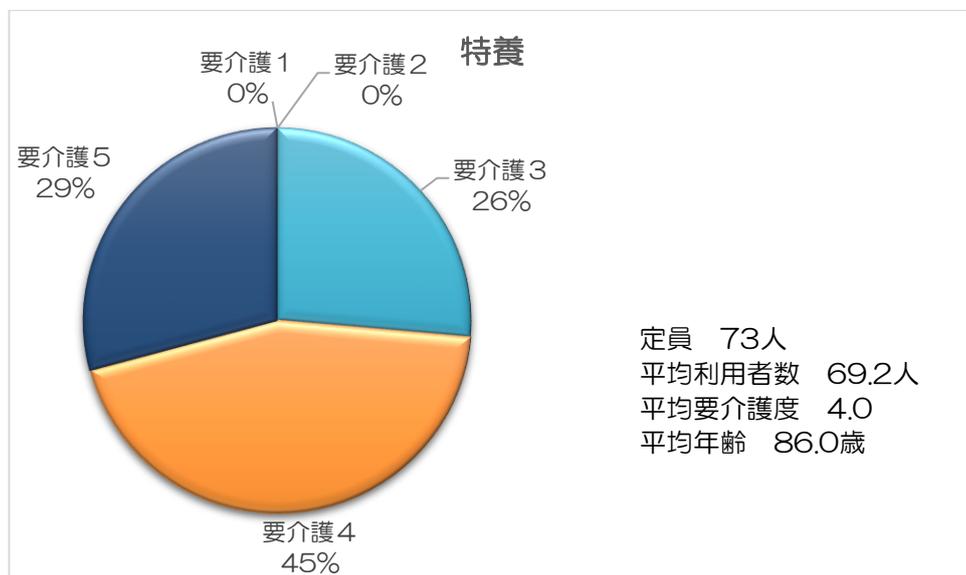
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 季節に合わせた議題提案	<p>①感染症対策、健康診断、ストレスチェック制度など、その季節に合わせた議題を提案し、委員会を実施しました。</p> <div data-bbox="438 405 1203 943" style="border: 2px solid yellow; border-radius: 25px; padding: 10px;"> <p>正しい咳エチケットはこれ！</p> <p>「マスクをする」 「ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う」 「袖で口・鼻を覆う」</p>  <p>マスクしない、とっさでティッシュなどもない時に、そのまま手で口・鼻を覆ってしまう人が日本人ではかなり多いんです。素手でやるとその手にウイルスが付き、そして周りの物やドアノブなどを触ってしまうことでウイルスがついて感染してしまいます（接触感染ですね）。</p> <p>ちなみに、欧米人はちゃんと袖（というか肘の内側）で口・鼻を覆っている人しか見たことありません。そして、ちゃんと「だって手で覆っちゃうとその手で触ったもので接触感染しちゃうからね」と理由まで理解していました。子供の時から教わるそうです。</p> <p>もし、とっさに手で口・鼻を覆ってしまったときは、すぐに手洗いをしっかりして接触感染を防ぎましょう。</p> </div>
(2) 労働災害の防止	① 労働災害となってしまった事案を含め確認を行い、職員への注意喚起を行いました。

3 生活課

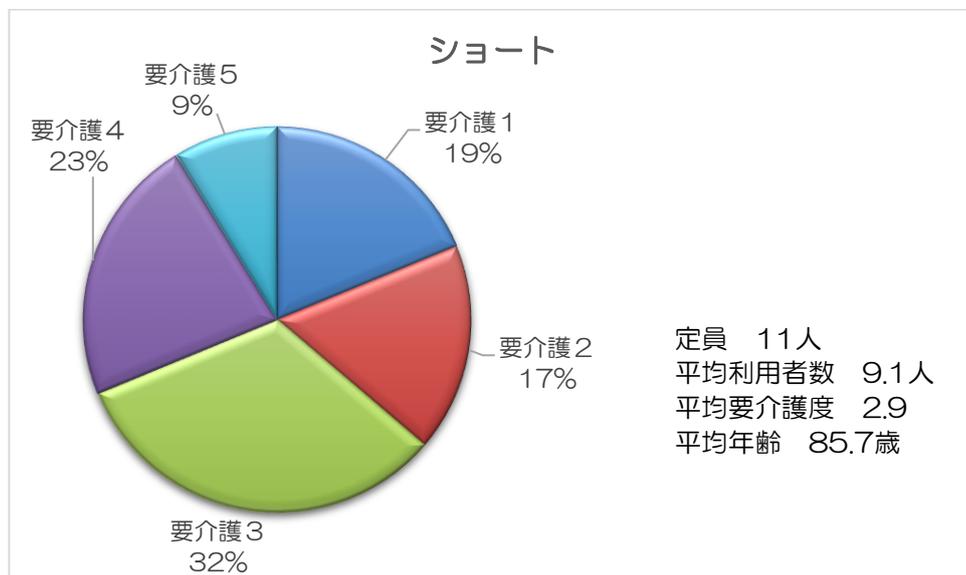
総合目標及び課題

- ・情報共有の大切さを意識し、安全な生活支援を行います。
- ・個別ニーズに沿った楽しみのある生活を提供します。

特別養護老人ホーム



短期入所



介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 第三者評価の検証	① 第三者評価からの課題として、Ⅰ：研修などで習得した知識を職員間で共有し、現場での業務や実践に反映する。Ⅱ：利用者への声掛け、関わり方の工夫を行い、質の高い支援を実施していく。

<p>(2) 介護職員によるリスクマネジメント、利用者の安全な生活の構築</p> <p>(3) 余暇活動の充実</p>	<p>I に関しては、外部研修等で知識の習得はある程度できましたが、職員間の情報共有、実践に反映させることができませんでした。来年度の事業計画に『職員のスキルアップ』を設定しているので、実施できるようにします。</p> <p>II に関しては、研修等で声掛け『スピーチロック』、関わり方を再確認してきましたが、定着には至りませんでした。職員一人一人の意識の差が大きく作用しているように感じるので、その点について検討・定着できるようにします。</p> <p>① フロアー責任者主導のもと、服薬方法の見直しを実施しましたが、2件の事故を起こしてしまいました。来年度はさらに服薬マニュアルを精査し、誤薬事故0を目指します。骨折等などにフロアー会議やリーダー職員を中心に介助方法の検討は実施できました。</p> <p>① 7月、10月、2月に利用者懇談会を開催し聞き取りを行いました。自己決定可能な方のニーズ把握は行えましたが、意思表示困難な方のニーズを把握することには課題が残りました。今後も利用者のニーズ把握と自己決定を促し、個別ケアの充実を図ります。</p>																																																									
<p>(4) 年間諸行事</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>予定行事</th> <th>実施予定日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>お花見行事</td> <td>4月5日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>行事食(寿司)</td> <td>4月18日(木)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>端午の節句</td> <td>5月3日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>菖蒲湯</td> <td>5月5日前後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>行事食(寿司)</td> <td>5月23日(木)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>ユニット行事</td> <td>6月中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>行事食(寿司)</td> <td>6月4日(火)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>行事食(うなぎ)</td> <td>6月27日(木)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>七夕行事(行事食)</td> <td>7月5日(金)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>ユニット行事</td> <td>8月中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そうめん行事</td> <td>8月7日(水)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>行事食(精進揚げ)</td> <td>8月13日(火)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縁日行事</td> <td>8月20日(火)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>長寿を祝う会(行事食)</td> <td>9月14日(土)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>ユニット行事</td> <td>10月中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>秋祭り</td> <td>10月19日(土)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外出行事</td> <td>10月22日(火)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ユニット行事</td> <td>11月中</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	予定行事	実施予定日	4月	お花見行事	4月5日(金)		行事食(寿司)	4月18日(木)	5月	端午の節句	5月3日(金)		菖蒲湯	5月5日前後		行事食(寿司)	5月23日(木)	6月	ユニット行事	6月中		行事食(寿司)	6月4日(火)		行事食(うなぎ)	6月27日(木)	7月	七夕行事(行事食)	7月5日(金)	8月	ユニット行事	8月中		そうめん行事	8月7日(水)		行事食(精進揚げ)	8月13日(火)		縁日行事	8月20日(火)	9月	長寿を祝う会(行事食)	9月14日(土)	10月	ユニット行事	10月中		秋祭り	10月19日(土)		外出行事	10月22日(火)	11月	ユニット行事	11月中
実施月	予定行事	実施予定日																																																								
4月	お花見行事	4月5日(金)																																																								
	行事食(寿司)	4月18日(木)																																																								
5月	端午の節句	5月3日(金)																																																								
	菖蒲湯	5月5日前後																																																								
	行事食(寿司)	5月23日(木)																																																								
6月	ユニット行事	6月中																																																								
	行事食(寿司)	6月4日(火)																																																								
	行事食(うなぎ)	6月27日(木)																																																								
7月	七夕行事(行事食)	7月5日(金)																																																								
8月	ユニット行事	8月中																																																								
	そうめん行事	8月7日(水)																																																								
	行事食(精進揚げ)	8月13日(火)																																																								
	縁日行事	8月20日(火)																																																								
9月	長寿を祝う会(行事食)	9月14日(土)																																																								
10月	ユニット行事	10月中																																																								
	秋祭り	10月19日(土)																																																								
	外出行事	10月22日(火)																																																								
11月	ユニット行事	11月中																																																								

		行事食（寿司）	11月19日（火）
		外出行事	11月20（水）
12月		行事食（寿司）	12月3日（火）
		もちつき行事	12月14日（土）
		冬至（ゆず湯）	12月22日前後
		クリスマス（行事食）	12月25日（水）
1月		行事食（おせち）	1月1日（水）
		新年会（行事食）	1月12日（日）
2月		節分行事（行事食）	2月3日（月）
		行事食（寿司）	2月18日（火）
3月		雛祭り行事	3月3日（火）
		行事食（のり弁）	3月31日（火）





看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 利用者の健康・体調管理の強化	<p>① 食事介助や入浴時の状態観察を積極的に行うことで異常の早期発見ができ、適切な対処ができました。</p> <p>② 介護、相談員、リハビリからの情報を得て状況に合わせた対処ができました。また看護師内でのコミュニケーションが円滑に図れ、相談しやすい環境ができたことで、早期の話し合いより状況に応じた対処ができました。</p>
(2) 嘱託医との連携	<p>① 嘱託医とのコミュニケーションが図れ、信頼関係を築くことができました。関係が築けた結果、電話や書面での状態報告ができるようになり、早期対応や不要な受診件数を減らすことができました。</p>
(3) 委員会・会議への参加	<p>① 衛生委員会に参加し、医療的立場からの意見を伝えることができました。介護職員との情報共有の機会が少なかったため、来年度はユニット会議に参加することで情報の共有に努めます。</p>

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 自立度の向上	① 10月～12月の3か月、3名のご利用者に対し実施しました。座位姿勢、立ち上がり動作から立位保持、歩容に改善がみられました。一番効果がみられたと思うのはご利用者の「リハビリを行いたい」という意欲が出ました。 また、介護支援用ロボット使いご利用者のサポートを行ったところ、利用者が嫌がらずにケアを受けられるようになり、安定した移乗動作ができるようになりました。
(2) リハビリの拡充	① 個々のご利用者に対し生活機能向上を目的とした生活リハビリを実施しました。介護職員と共に検討し、協力を得られたのでリハビリの実施者を増やすことができました。利用者の機能向上（座位姿勢の安定による誤嚥防止、関節拘縮防止等）にも効果がみられました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 外出ボランティアの育成	<p>① 傾聴ボランティアに入って頂いている方を対象に外出ボランティアの育成を実施しています。まずは、施設内での傾聴と屋外での傾聴等を実施しました。他の演奏ボランティア日に合わせて実施をするなどの対応も行いました。</p> <p>② 安心安全にボランティアを実施していただくため、ボランティア保険の加入を実施しています。計8団体・38名の加入を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラオケクラブ 3名 ・東部ハーモニカクラブ 8名 ・南京玉すだれ 5名 ・お茶クラブ 4名 ・手体操いなほ 2名 ・大正琴クラブ 7名 ・音楽クラブ 4名 ・プラチナバンド 5名 <p>③ 富士見市社会福祉協議会が実施しているボランティアポイント制度の情報提供を継続して実施しました。制度を利用されている方の施設活動延べ人数 166名を報告しています。ボランティア活動の中には、事前準備のオリエンテーション実施し、活動後には各ボランティアに活動記録を記入してもらい、その場で活動内容の評価及び反省会を行いました。</p>
	 

<p>(2) 入院者の病状確認</p>	<p>① 継続的に、入院者の病状確認のため、面会と連絡及びご家族等に実施しています。病棟の看護師に直接話を伺い、今後の治療方針や現状の把握に努めました。</p> <p>② 入院者の病状確認実施と今後の経過を把握する中、積極的に医療機関にICを依頼し医師及び看護師、家族と施設の情報共有に努めました。しかし、昨年度よりも入院者及び空床期間の減少には至りませんでした。入院加療が必要な利用者の増加が目立っています。入院者延べ人数 50 人・延べ日数 1196 日。昨年度比、延べ人数 19 人・延べ日数 514 日間の増加でした。平均入院日数も 6.5 日/1 人の増加となっています。長期入院者に対しては 7 人の生存退所支援を行いました。</p>
<p>(3) 稼働率維持・向上に向けた取組み</p>	<p>① 年間特養入所稼働率 94.8%となっています。昨年度比で 1.7%の低下となりました。要因として、入院日数の増加が主な原因となっています。本入所者の空床は退所者 14 名・空床期間 91 日間となる。昨年度比で 6 名・3 日間の増加となりました。新規本入所までの空床期間は平均で 6.5 日となり、昨年度比 4.5 日間減少となりました。入院日数の減少が今後の課題となります。</p> <p>② 年間SS利用稼働率 82.3%となっています。昨年度比で 3.9%の低下となりました。新規利用者は 48 名の受入れを実施。昨年度比で実人数 29 名増加するも延べ日数は 145 日の低下となりました。新規利用者の安定確保及び各利用者の利用日数増加が課題となる。居宅介護支援事業所には毎月空床情報を発行し情報発信は積極的に行いました。また、初めての試みでしたが各関係機関と調整し短期入所生活利用者の看取り介護支援を 2 名実施しています。</p> <p>③ 月 1 回の入所検討委員会を開催しました。優先入所指針に沿って希望者の安定確保を実施しています。安定的に待機者確保ができたこともあり、年間退所者 14 名中 7 名の生存退所（長期入院者）を実施し新規入所者をスムーズに受け入れました。</p>
<p>(4) 利用者本位のケアプラン作成及び説明の実施</p>	<p>① 今年度はケアプランの長期目標期間を 1 年間、短期目標期間を半年間と定め、利用者の自立支援及び各セクション協働での作成を実施しました。</p> <p>② 各利用者のアセスメントを実施し、ケアカンファレンスを実施できるよう努めました。半年ごとの短期目標にも目を向け、軽微な変更も含めた合意に努めています。要介護認定更新時及び入院加療後の退院時のケアのニーズにも柔軟に対応しプラン作成に努めました。</p>

・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスにつなぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が霜害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配置並びに相談活動	① 社会貢献事業を実施するために、2名の相談員を配置し地域の生活困窮者に対する課題の解決に努めています。社会福祉協議会の生活困窮担当支援員の方との支援相談やあんしんセーフティネット事業での課題解決への相談は継続的に実施しました。
(2) 経済的援助	① 援助の相談は年度中3件ありましたが、具体的経済援助は相談者自身の努力により実施には至りませんでした。必要とする方からの相談を重ねるなかで、経済的援助の必要性を判断した場合は施設長に報告し支援を実施します。
(3) 研修会への参加	① 令和元年8月22日 彩の国あんしんセーフティネット事業 第1回ブロック会議研修（第2ブロック）

委員会

・安全委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ヒヤリハット及び事故削減の対策強化	① 月2回以上、同じケースでの事故又はヒヤリハットが起きた後、適宜、原因と対応策を検討し委員会内でも協議し、今後の事故防止へと繋げることができました。 ② 利用者のADLの変化に気付きやすい、日勤帯職員の意見も参考にすることで、大きな事故の軽減や事故を未然に防げたことが数多くありました。今後も多くの職員の意見を参考にし、事故防止に努めています。 ③ フロアー会議など多くの職員がいる時に、事故原因を検討することができました。
(2) 事故報告の周知・徹底	① フロアー会議録や引き継ぎ書にて防止対策を周知し、職員間で情報を共有することができました。

・排泄委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 排泄の自立を目指す	① 利用者の身体機能を活用し、自立を促す援助を行いました。 ② 介護・看護・委員と連携し、少数ではありますが、サンファイバー（食物繊維）提供が有効である利用者を増やすことができました。 ③ 座位保持が可能な利用者に関しては、残存機能維持の目的も含めて可能な限り、トイレ誘導を実施しました。
(2) 自尊心や尊厳の保持	① 本人の排泄リズムに合わせ、訴え時には適宜、排泄支援を実施しました。きました。 ② 排尿・排便状況の確認、把握をすることに看護師から適切な助言を受けることができました。

・入浴委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入浴事故の防止 (転落・転倒・怪我等の入浴事故防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> ① 入浴形態や介助方法の変更時は速やかに情報共有を行い、事故防止や安全配慮に努めることができました。 ② 他事業所での事故事例を紹介して、介助の見直しや見守りの重要性を周知しました。 ③ 職員の事故防止に対する意識を高めていくために、2か月に1回の入浴研修を実施しました。
(2) 利用者の状態に合わせた入浴形態の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員協議のもと、安全に配慮した入浴形態での支援を実施することができました。

・食事委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 口腔内清潔の保持	<ul style="list-style-type: none"> ① 洗口液を使用してのケアが継続できるようになりました。1日を通して常に、口腔内環境が良好に保てるように今後も取り組んでいきます。
(2) 誤嚥防止	<ul style="list-style-type: none"> ① 継続的な実施が難しかったので、委員会が中心となり、他職員への周知・実践を行います。 ② 食事形態の見直しに時間がかかるケースがありました。利用者の安全な食事を意識し、変更経路体制の見直しを行います。 ③ 細めな座り直しや職員間での情報共有をもと、介助方法の統一ができました。
(3) 手指の消毒	<ul style="list-style-type: none"> ① 衛生面を考え、今後も手指消毒の徹底を行います。

・整容委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ① 感染症が流行する時期には職員への再周知を行い、物品管理等も含めて、手すりやドアノブ、テーブル等の消毒を実施することができました。 ② 定着はしてきましたが、不十分な時もありましたので、徹底します。 ③ 食堂やフロアの換気は十分に実施できました。 ④ 感染予防もあり1ケア1消毒の実施ができました。
(2) 清潔な環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ① 口腔ケア介助時に細目な清掃実施を心掛け、清潔な環境を維持しました。 ② 各居室担当が責任を持ち、衣替え等、季節に応じた対応が実施できました。今後は日々の環境整備もきちんと実施します。
(3) 清潔なり初りの維持	<ul style="list-style-type: none"> ① リネン交換を担当制としたことで、各自が責任感を持ち、清潔保持に努めました。

(4) 整容と身だしなみを整える	① 起床介助以外でも細めに目脂を拭くことはできました。衣類の汚れにまでは行き届かない部分もありましたので、身だしなみにも配慮し清潔感のある支援を行います。
------------------	---

・身体拘束廃止に向けた検討委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 言葉の拘束廃止	<p>① マニュアルの作成は場面ごとに検討しました。昨年からの課題だったので、いくつか作成してみましたが、様々な部署や利用者個々への対応を考えると、ひとつのマニュアルで統一するのは難しいということがわかりました。</p> <p>② 年間の委員会開催日を固定化し、全職員に周知し参加できる体制を作りました。</p> <p>③ 勉強会を行った結果、利用者個々への言葉のかけ方や対応に違いがあること、職員にも考え方の違いがあることがわかりました。職員の考え方の違いに関しては、勉強会の中で話し合いながら少しずつひとつの方向性を作ることができました。</p>
(2) 「言葉の拘束」研修	<p>① 言葉の拘束が利用者へ与える影響についての研修を行うことはできませんでしたが、言葉の拘束や身体拘束をしないケアの方法「ユマニチュード」についての研修を企画しました。講師依頼ではなく、いつでも活用できるように DVD を購入し研修を行いました。</p>

・介護ロボット委員会

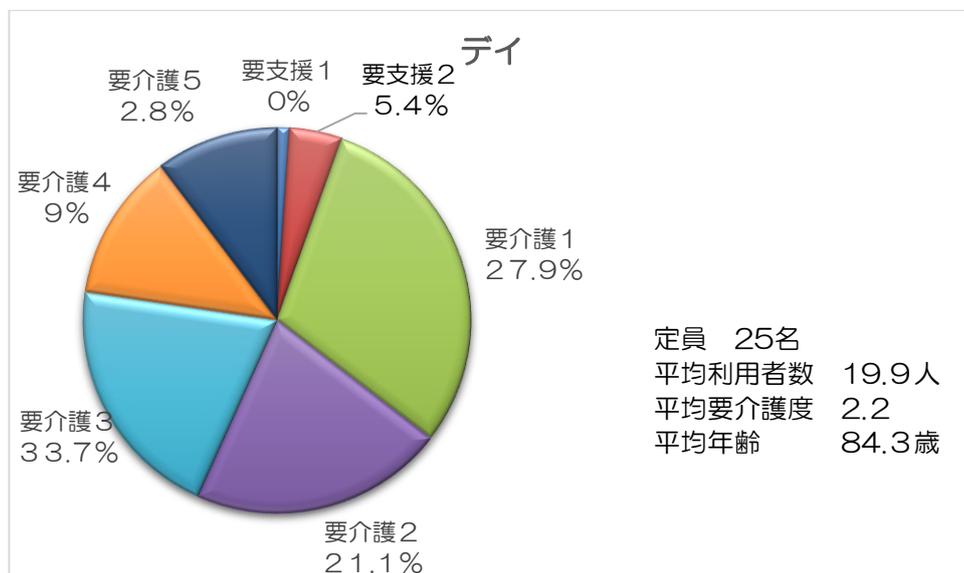
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護ロボットの利活用	<p>① 定期的にメーカー担当者から介護現場での使用方法等についての指導を受け、実践しました。また、外部の介護セミナーでの講師依頼があり、施設内での取り組みや介護ロボットを使用することで得られる効果を発表することができました。</p>  <p>② 効果検証やエビデンス採取に取り組みましたが、効果を実感するには個人差があり、記録にも不備がありました。より効果が実感できる体験会を開催し、正確なデータ統計ができるよう取り組みます。</p> <p>③ 安全使用者講習にとどまらず、管理者講習の受講希望職員がおり、メーカー担当者による講習を受講することができました。また、受講した職員が講師となり外部研修での発表に繋げることができました。今後もメーカー、パートナー企業協力のもと、使用者の裾野を広げていきます。</p>

4 地域課

総合目標及び課題

- ・事故、怪我のないサービス提供を目標にいつでも「慎重」に心を掛けます。
- ・地域に住んでいる高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を継続出来るように支援します。

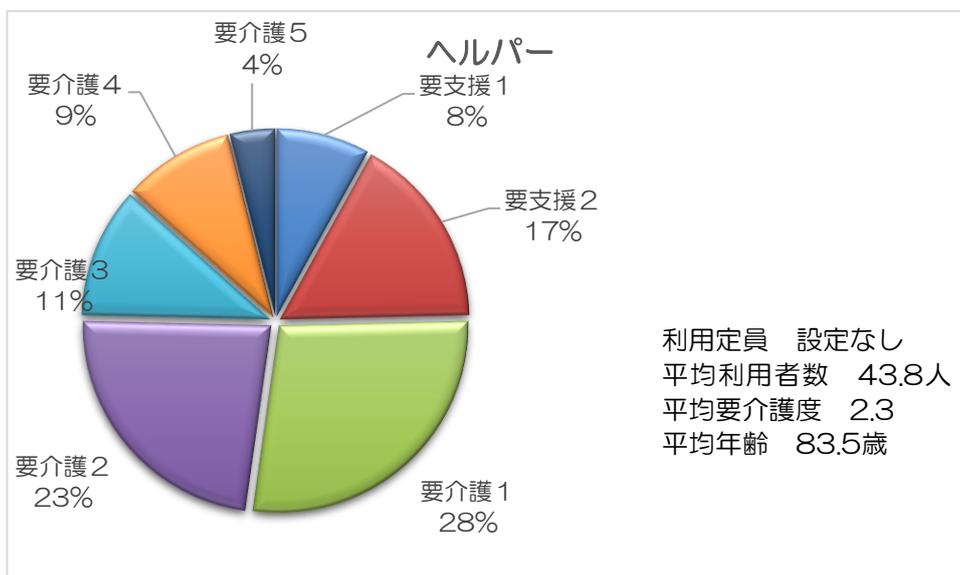
デイサービスセンター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護	① 接遇マニュアルを実行し、特に言葉遣いや身だしなみを注意しながらサービス提供を行いました。 ② 「明るく、楽しく、元気良く」を意識しての取り組みを継続して実施することが出来ました。
(2) 医務	① 利用者各々の個性、特徴を理解して個々に対応できました。 ② 医療頻度の高い方（酸素吸入、膀胱瘻等）も利用が出来るように職員、利用者、家族、ケアマネ間で情報共有を意識して取り組みました。
(3) リハビリ	① 昨年9月から常勤の機能訓練指導員を採用し、利用者の方々がリハビリ実施する回数を増やすことができました。結果、立位、姿勢保持、歩行の安定性等が向上することができました。また、埼玉県福祉部が主催している「高齢者元気力アップ応援事業」に登録し、自立支援・重度化防止の取組等が認められ、令和2年4月1日付けで認証されました。
(4) 運転	① 安全運転を目標に大きな事故なく実施することが出来ました。
(5) 相談	① 積極的に利用案内を実施した結果、利用率になりました。 ② 急変時、家族やケアマネへの連絡を迅速に行いました。

<p>(6)通所型サービスAの実施</p> <p>(7)稼働率維持・向上に向けた取り組み</p>	<p>③入浴、食事、排泄、機能訓練などデイサービスで提供できるものは類似してしましますが、各々に活気があり、前向きな気持ちで通って頂けるような計画、自身の残存能力を生かせる自立支援を意識して行えました。</p> <p>①利用者自身が自立を意識し、手伝い過ぎないことを職員の共通理解として取り組みました。結果、年間通して滞ることなく利用してもらうことが出来ました。</p> <p>①年間稼働率 79.5% (延利用数 6144 日) で目標には届きませんでした前年度より、3.6%増 (延利用数 301 日増加) となりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--	---

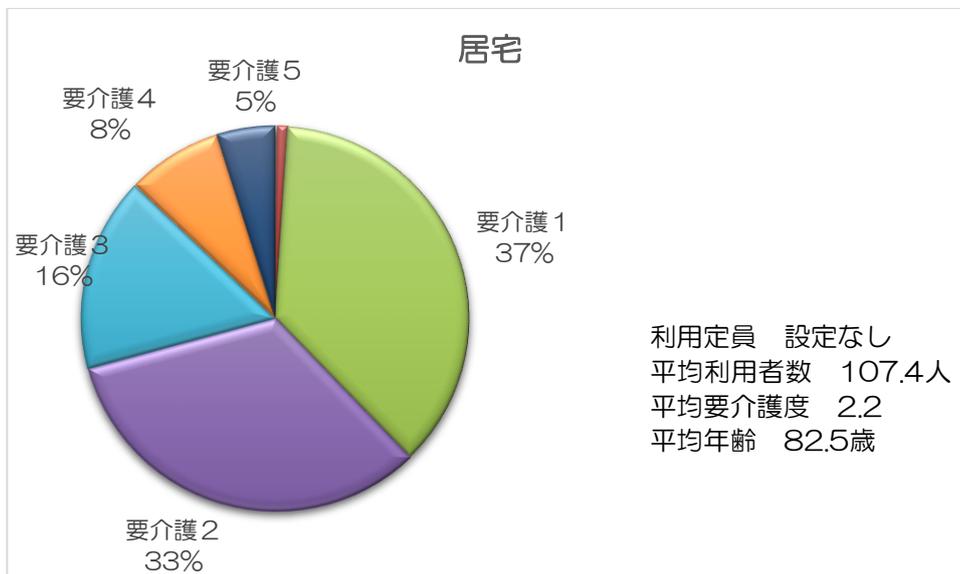
ヘルパーステーション



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員の資質向上への取り組み	<p>① ヘルパー会議を行いながら、情報共有やサービス内容の確認、変更等の周知に努めました。</p> <p>② サービス内容を把握してできる事は自身でやってもらい、出来ないことを明確にして支援しました。</p> <p>③ 信頼関係が築けるような関わり方を意識して、傾聴を大切に心がけました。</p>

	<p>④ サービス提供時、接遇マニュアルを実現出来るように丁寧な対応を実施しました。</p> <p>⑤ 内部研修を中心に研修に参加しましたがサービス時間と重なり、希望している研修には参加できないことが多く課題が残りました。参加した職員から内容を引き継げるように実施しました。</p>
(2) 相談・苦情への対応	① 相談や苦情があった場合にはサービス提供責任者が連絡や訪問して迅速かつ誠実に対応し問題解決に対応しました。
(3) リスクマネジメント	<p>① 訪問時、利用者様の状態変化等、様子観察に努めました。</p> <p>② ケアマネへのこまめな報告にて連携を図りました。</p> <p>③ 緊急時の対応を把握し状況判断ができるよう努めました。</p> <p>④ 利用者様宅の備品・道具は大切に使用し壊れた時は直ぐに報告し対応しました。</p>
(4) 訪問型サービスAの実施	① 介護予防・生活支援サービス事業を継続的に実施し介護予防に取り組みました。
(5) 訪問数維持・向上に向けた取り組み	① 月平均 400 回の訪問を目指しましたが、年間通して月平均 327.9 回となり、目標達成できませんでした。

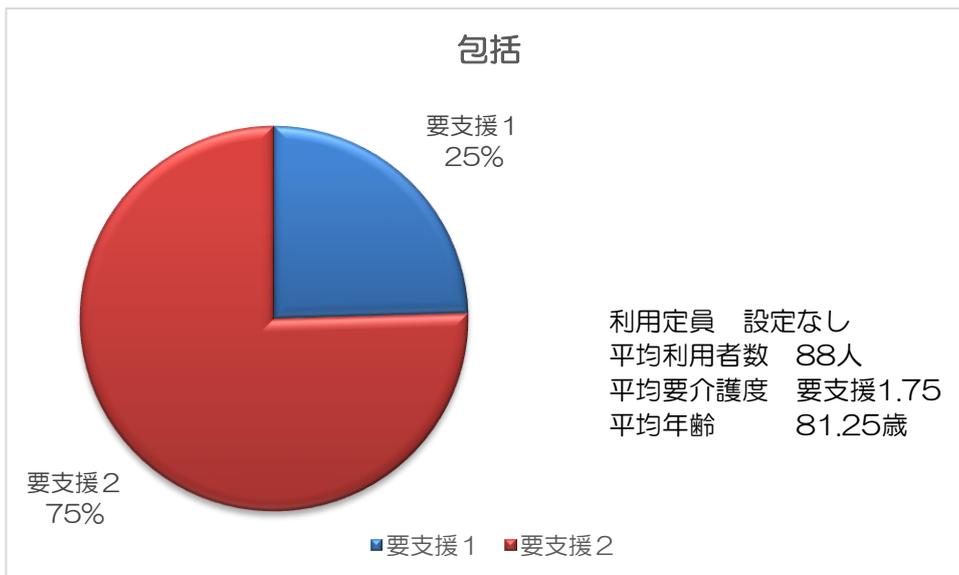
居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメント	<p>① 家族との関わりを丁寧に対応することで信頼関係構築に努めました。</p> <p>② 外部研修に参加し（合計で 17 回参加）、個々のスキルアップを図りました。</p> <p>③ 地域包括支援センターから協力依頼があった「地域ケア個別会議」、「地域ケア圏域会議」にそれぞれ 3 回出席し、2 事例の提供をしました。</p>

<p>(2) 医療・介護連携</p>	<p>① 対応困難事例では地域包括支援センターに相談して対応を検討しました。</p> <p>② 支援会議を月1回開催し、制度理解や情報共有、困難事例の検討等の場としました。</p> <p>③ 主治医とは「医療と介護の連携シート」を活用し、状態確認や医療系サービスの必要性等を確認しました。</p> <p>④ 担当利用者が入院時には医療機関との連携を図り、情報共有しました（入院時情報連携加算22件算定）。</p> <p>⑤ 要介護4、5の方の受け入れを112件（全体の13%）実施し、中重度の利用者の方々でも在宅生活が継続出来るように支援をしました。</p>
<p>(3) プラン作成率維持・向上に向けた取組み</p>	<p>① 年間のケアプラン作成率（要介護+要支援の平均）は90.1%となり、目標を達成することができました。請求合計は要介護1289件（前年度より10%増。月平均107.4件）、予防164件（前年度より9%減少。月平均13.6件）となりました。</p>

地域包括支援センター

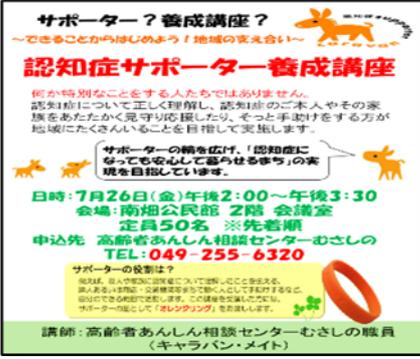


重点目標及び課題	具体的取組み
<p>(1) 総合的な相談支援</p>	<p>・町会やふれあいサロン、社会福祉協議会等の団体からの依頼で、出前講座を実施し、介護予防啓発や地域包括支援センターの周知活動を行いました。また、健康講座の講師手配等の調整を行いました。</p>

	出前講座、 介護予防講座	11 回実施 延 577 名	4/10 ふれあいサロンひろば(25名) 5/12 勝瀬地区社会福祉協議会総会(83名) 7/22 サロンはるな(24名) 8/22 渡戸喜楽会(35名) 9/15 渡戸東敬老会(147名) 10/ 2 ふじみ野ふれあいサロン(53名) 10/16 渡戸3丁目サロン(55名) 11/ 2 渡戸第2サロン(45名) 11/13 勝瀬地区町会長連合会(26名) 11/20 羽沢2丁目お茶会(43名) 12/18 羽沢1丁目サロン(41名)	
	出前相談会 *写真		3/7、3/8 南畑ふるさとまつり *新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。	
	健康講座	計 4 回実施 延 145 名	南畑地区社会福祉協議会主催 1/11~2/1 南畑第1~5町会 「健康に長生きするためのちょっといい話」	
	・地域のネットワーク構築の基盤を整え、地域ネットワーク拡充や活性化させるために、民生委員、関係機関等の会議にて情報交換を行いました。			
(2) 権利擁護、虐待の 早期発見の・防止	民生委員との 情報交換会	5/8 7/11	水谷・南畑地区民生委員協議会 勝瀬地区民生委員協議会	
	地域密着型通所介護 運営推進会議	7/23、2/20 9/19、2/14	デイサービスセンター南畑 はるな苑デイサービスセンター	
	① 高齢者虐待の防止、支援 虐待通報対象者に対し、2名体制で早急に訪問を行い、現状を確認のうえ、ケアマネジャー、市の担当者等と対応策の検討を行いました。			
	② 消費者被害等の防止・支援 上記①②について、出前講座等を通じて啓発活動を行うとともに、地域から消費者被害情報の確認を取ることができました。また、地域の事業所に、認知症や虐待、消費者被害防止等の見守り・連携の協力を求めました。			
消費者被害チラシ 配布	967 枚	出前講座、オレンジカフェ、介護者サロン、介護者教室等		
高齢者見守りネット ワーク事業	6/21、9/20、12/13 *3/13中止(コロナ)	第1圏域内	承諾 20 件 ／訪問 38 件	

<p>(3) ケアマネジャーへの支援</p>	<p>③ 成年後見制度等の利用支援</p> <p>成年後見制度利用対象者が、一人暮らしの継続ができるように、親族や関連機関と連携支援を行い、担当ケアマネジャーが支援しやすい状況を整えられるまで関わっています。</p> <p>・ケアマネジャー同士や包括との情報交換・交流の場の提供、研修開催、電話等の相談において、介護支援専門員のケアマネジメント向上、処遇困難事例に対する助言、後方支援を行いました。</p>																		
	<table border="1"> <tr> <td>ケアマネ研修会</td> <td>11/13 67名</td> <td>「高齢者虐待の防止と支援」 高齢者福祉課地域包括ケア係 5圏域合同開催</td> </tr> <tr> <td>ケアマネサロン 「クラージュ」 偶数月第3金曜</td> <td>4/19、6/21、 8/16、10/18、 12/20、2/21</td> <td>5圏域輪番</td> </tr> </table>	ケアマネ研修会	11/13 67名	「高齢者虐待の防止と支援」 高齢者福祉課地域包括ケア係 5圏域合同開催	ケアマネサロン 「クラージュ」 偶数月第3金曜	4/19、6/21、 8/16、10/18、 12/20、2/21	5圏域輪番												
ケアマネ研修会	11/13 67名	「高齢者虐待の防止と支援」 高齢者福祉課地域包括ケア係 5圏域合同開催																	
ケアマネサロン 「クラージュ」 偶数月第3金曜	4/19、6/21、 8/16、10/18、 12/20、2/21	5圏域輪番																	
<p>(4) 介護予防ケアマネジメント</p>	<p>・高齢者の自立支援のために、社会参加や多様なサービスの活用を含めた質の高いケアプランの提供に努めました。委託先ケアマネジャーのケアプラン指導も行っています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標数</th> <th colspan="2">令和元年度実績</th> <th colspan="2">前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自プラン</td> <td>月60件</td> <td>417件/年</td> <td>月平均34.7件</td> <td>306件/年</td> <td>月平均25.5件</td> </tr> <tr> <td>委託プラン</td> <td></td> <td>639件/年</td> <td>月平均53.2件</td> <td>718件/年</td> <td>月平均59.8件</td> </tr> </tbody> </table>		目標数	令和元年度実績		前年度		自プラン	月60件	417件/年	月平均34.7件	306件/年	月平均25.5件	委託プラン		639件/年	月平均53.2件	718件/年	月平均59.8件
	目標数	令和元年度実績		前年度															
自プラン	月60件	417件/年	月平均34.7件	306件/年	月平均25.5件														
委託プラン		639件/年	月平均53.2件	718件/年	月平均59.8件														
<p>(5) 医療・介護連携</p>	<p>・中重度の要介護者や医療ニーズの高い要支援者等の医療・介護連携を強化のため、研修への参加とともに、顔の見える関係作りに努めました。</p> <table border="1"> <tr> <td>医療と介護の連携の会 多職種研修</td> <td>7/2、11/20</td> <td>2市1町連携開催</td> </tr> </table>	医療と介護の連携の会 多職種研修	7/2、11/20	2市1町連携開催															
医療と介護の連携の会 多職種研修	7/2、11/20	2市1町連携開催																	
<p>(6) その他</p>	<p>① 地域ケア会議</p> <p>介護予防支援会議、地域ケア個別会議を通して、利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう取り組みました。また、地域ケア圏域会議を開催し、事例を通して、地域課題の抽出や地域支援ネットワークの構築に努めました。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">地域ケア会議 年合計 8回</td> <td>センター</td> <td>地域ケア 圏域会議</td> <td>地域事例</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>開催</td> <td>地域ケア 個別会議</td> <td>要介護プラン</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>市開催</td> <td>介護予防支援地域ケア会議</td> <td>要支援プラン</td> <td>2回</td> </tr> </table> <p>② 認知症地域支援推進</p> <p>認知症の方の理解を深め、家族、地域、専門家等が相互に情報共有できる場を提供し、また、認知症の正しい理解を得るための普及・啓発活動を行いました。市や専門医療機関等と連携し、必要な医療や介護の導入・調整、家族支援に努め</p>	地域ケア会議 年合計 8回	センター	地域ケア 圏域会議	地域事例	3回	開催	地域ケア 個別会議	要介護プラン	3回	市開催	介護予防支援地域ケア会議	要支援プラン	2回					
地域ケア会議 年合計 8回	センター		地域ケア 圏域会議	地域事例	3回														
	開催		地域ケア 個別会議	要介護プラン	3回														
	市開催	介護予防支援地域ケア会議	要支援プラン	2回															

ました。

項目	開催月	場所・対象
認知症サポーター講座	7/26 23名	南畑公民館(地域住民)
	11/12 18名	みずほ銀行
認知症サポーター フォローアップ講座	9/12 21名	市と5圏域合同連携開催
オレンジカフェ「南畑いこいば」 (奇数月年6回予定) オレンジカフェ「渡戸3」 (偶数月年5回予定)	5/22(35名)、7/24(26名)、 9/25(15名)、 11/27(35名)、1/29(25名) 計136名 4/25(20名)、6/27(17名)、 10/24(20名)、 12/19(17名) 計74名	・南畑公民館 *3/25(感染予防で中止) ・渡戸3丁目集会所 *2/27(感染予防で中止)
認知症地域支援推進員会議	毎月第3水曜	市、5包括の認知症地域支援推進員
世界アルツハイマーデー活動	9/22	市、5包括の認知症地域支援推進員

③ 生活支援体制整備事業

市や社会福祉協議会と協力し、地域住民主体の地域づくり(助け合い、支え・支えられる)の体制作りに協力しました。

④ 介護者教室実施・介護者サロンへの支援

介護者や介護に関心のある地域の方が、社会的交流の機会を持ち、介護の理解を深め、介護負担軽減につなげられるように、介護者教室を開催し、介護者サロンへの参加を呼びかけました。介護者サロンでは、ボランティア等に対する相談に専門的な立場で助言を行いました。

項目	開催月	場所・対象
介護者教室	6/29	「口腔ケアで健口寿命を延ばそう」 勝瀬集会所 勝瀬地区社会福祉協議会との連携
	11/15	「相続ココだけの話」

		11/25	ふじみ野交流センター 介護者サロン「窓陽」との連携 「お口の健康・体の健康オーラルフレイルとは」 南畑公民館
	介護者サロン「窓陽」	毎月第3金曜	ふじみ野交流センター*8月休み *3月はコロナ感染防止のため中止
<p>⑤ 地域行事への参加・協力等</p> <p>地域包括支援センターとして地域のネットワークに積極的に参加し、法人職員としても地域に根差した活動に協力しました。</p>			

配食サービス

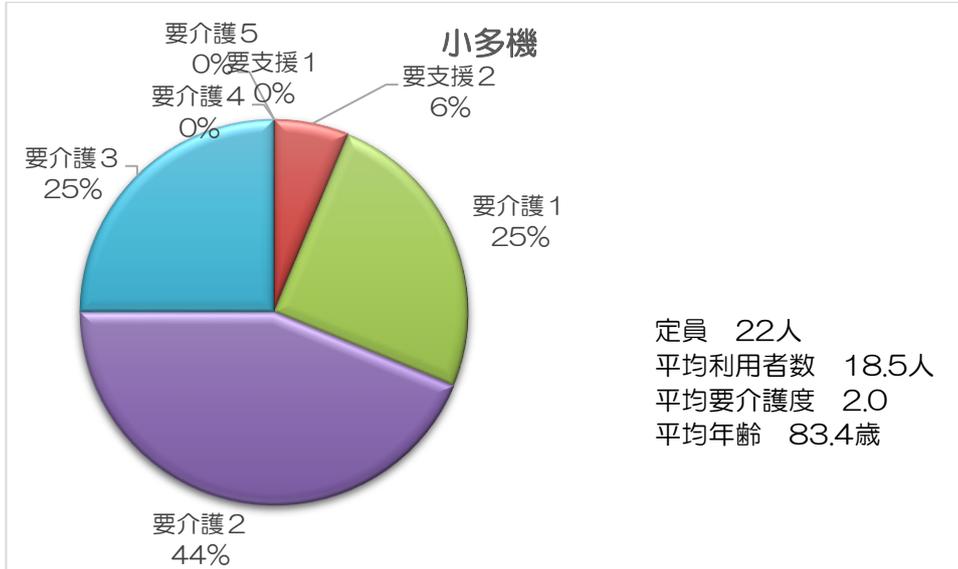
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 在宅生活を支える	① 地域での関わりを大切に在宅生活の支えになれるように事業を継続しました。年間実績は昼食 406 食（前年度より 84 減）、夕食 1834 食（前年度より 427 増加）の提供をしました。
(2) 配食事業の周知	① 法人内の事業（地域包括、小規模多機能、居宅介護支援事業等）を中心にニーズ確認やパンフレットの配布を行い、周知活動を継続しました。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・業務の見直しを行い効率的に働ける環境を整えます。
- ・施設設備の故障に対して早めの対応を行います。
- ・在宅から入所まで事業間で連携を取りながら継続して支援していきます。

小規模多機能型居宅介護



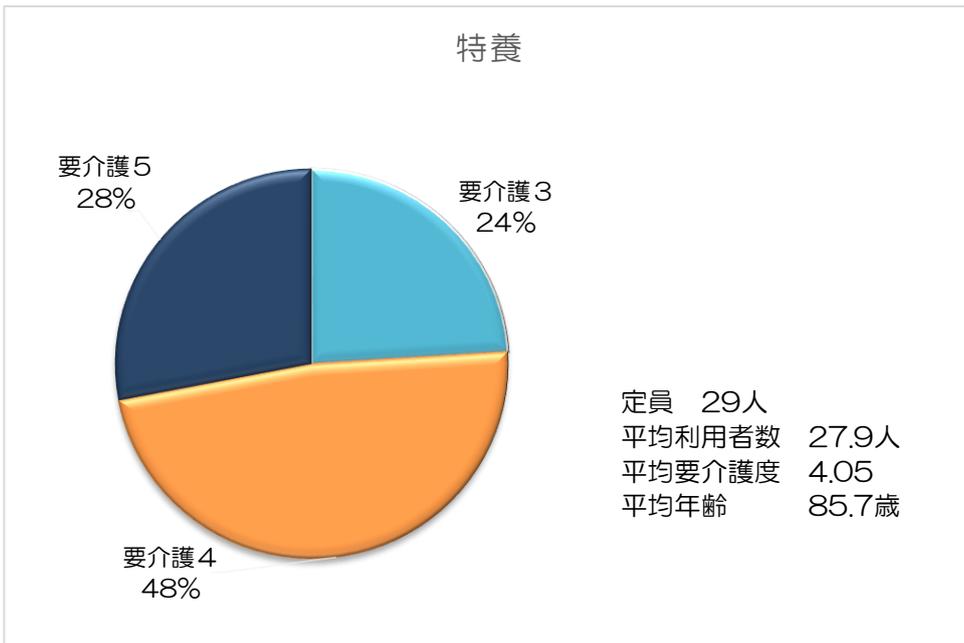
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 通い	① 個別支援を意識した通いサービスを実施しレクリエーション活動などに反映しました。
(2) 訪問	① 1日15件前後訪問し、訪問体制強化加算の算定要件を満たした訪問サービスを実施し加算を算定することが出来ました。
(3) 宿泊	① 人員体制が整わず計画的な宿泊は始められませんでしたでしたが既存のご利用者の希望に合わせ宿泊シフトを作成しました。
(4) その他	① 新たなマニュアルは作成できませんでしたが既存のマニュアルに沿って緊急時対応は迅速に行いました。 ② ご利用者同士の話し合いが難しく懇談会は実施できませんでしたが、会話などから利用者の「～したい」という希望を聞き出しサービスに繋げました。 ③ 新規利用者の情報収集のため利用前に常勤職員がケアマネと同行訪問し職員間の情報共有が出来ました。
(5) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 居宅・包括・病院などに営業を毎月行い新規利用者の受入を進めましたが定員 25名まで引き上げられませんでした。泊りサービスや小規模としての売りの充実が課

題となりました。

- ② 退職や異動により取り組めませんでしたでしたが既存の利用者の希望には対応できました。
- ③ 新規受け入れ年間通して7件ありましたがご逝去・施設入所・居宅移行などによる終了が9件あり稼働率 90%は達成できませんでした。



地域密着型特別養護老人ホーム



介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 第三者評価の検証	① 昨年に続き、第三者評価の結果の分析から課題抽出を行いサービスの質の向上に活かしました。
(2) ユニットケア	① 今年度は24Hシートについての取り組みができず、入居者個人の24Hシート及び質問リスト作成には至りませんでした。

(3) ヒヤリハット	<p>① 与薬マニュアルに基づき、ダブルチェック・声出し確認を徹底することで誤薬発生件数は減少しました。誤薬を未然に防ぐことができています。</p> <p>② ヒヤリハット発生時は処置を必要とする場合があるためか、医務への報告はスムーズですが介護職員同士や相談員など、リアルタイムでの連携・情報共有については課題が残りました。</p>															
(4) ユニット会議	<p>① 勤務の都合上、参加できる職員は限られますが、意見交換の場としてユニット会議の時間を有効活用することができました。</p> <p>② 連絡事項・引継ぎ内容は事前入力とし、会議までに各自目を通しておくことで当日は検討事項について話し合う時間の確保ができました。 会議時間は長くても1時間30分と区切りを決めました。</p>															
(5) 年間の催し	<p>① 年間の催しについて見直しを行い、今年度は「端午の節句」「運動会」「七夕」「ひなまつり」は実施せずユニット行事を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="475 864 1445 2016"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 864 608 913">実施月</th> <th data-bbox="608 864 879 913">内容</th> <th data-bbox="879 864 1445 913">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 913 608 963">4月</td> <td data-bbox="608 913 879 963">お花見</td> <td data-bbox="879 913 1445 963">桜の開花時期に応じて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 963 608 1442">5月</td> <td data-bbox="608 963 879 1442">菖蒲湯 ホームパーティー (家族参加)</td> <td data-bbox="879 963 1445 1442">各ユニット入浴時に実施 5/25(土) <u>中庭</u> 焼きそば・フランクフルト <u>ひまわり</u> ミルクプリン <u>こすもす</u> フライドポテト・えびせん <u>すいせん</u> プルコギ・餃子スープ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1442 608 1541">6月</td> <td data-bbox="608 1442 879 1541">居酒屋</td> <td data-bbox="879 1442 1445 1541">6/20(木)7名参加 飲酒される方限定で開催</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1541 608 2016">7月</td> <td data-bbox="608 1541 879 2016">流しそうめん 地区夏まつり 7月～8月にかけて 開催</td> <td data-bbox="879 1541 1445 2016">7/22(月) すいせん 7/23(火) ひまわり 7/26(金) こすもす 7/20(土) 8/3(土) 8/17(土) 8/24(土) 2地区 10/19(土) 本体施設</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	内容	開催日	4月	お花見	桜の開花時期に応じて	5月	菖蒲湯 ホームパーティー (家族参加)	各ユニット入浴時に実施 5/25(土) <u>中庭</u> 焼きそば・フランクフルト <u>ひまわり</u> ミルクプリン <u>こすもす</u> フライドポテト・えびせん <u>すいせん</u> プルコギ・餃子スープ	6月	居酒屋	6/20(木)7名参加 飲酒される方限定で開催	7月	流しそうめん 地区夏まつり 7月～8月にかけて 開催	7/22(月) すいせん 7/23(火) ひまわり 7/26(金) こすもす 7/20(土) 8/3(土) 8/17(土) 8/24(土) 2地区 10/19(土) 本体施設
実施月	内容	開催日														
4月	お花見	桜の開花時期に応じて														
5月	菖蒲湯 ホームパーティー (家族参加)	各ユニット入浴時に実施 5/25(土) <u>中庭</u> 焼きそば・フランクフルト <u>ひまわり</u> ミルクプリン <u>こすもす</u> フライドポテト・えびせん <u>すいせん</u> プルコギ・餃子スープ														
6月	居酒屋	6/20(木)7名参加 飲酒される方限定で開催														
7月	流しそうめん 地区夏まつり 7月～8月にかけて 開催	7/22(月) すいせん 7/23(火) ひまわり 7/26(金) こすもす 7/20(土) 8/3(土) 8/17(土) 8/24(土) 2地区 10/19(土) 本体施設														

		8/28 (火) 天候不良のため 参加中止 9/7 (土) 希望者不在のため 参加中止
8月	花火	8/29 (木) 30 (金)
9月	地区敬老会 9月~10月にかけて開催	9/29 (日) 5名参加 10/22 (火) 1名参加
10月	ユニット行事	<u>ひまわり</u> 10/28 (月) 昼食作り お好み焼き・かき玉汁 アイスクリーム提供 <u>こすもす</u> 10/3 (木) 外食行事6名参加 10/21 (月) 間食プリン作り <u>すいせん</u> 10/16 (水) 外食行事 10名
11月	地域防災訓練 水谷文化祭 収穫祭	11月中 11/9 (土) 出店 もつ煮・缶ビール お菓子のつかみ取り 11/11 (月) 秋の食材を提供 芋煮・栗羊羹・干し柿
12月	冬至 餅つき (家族参加) クリスマス会	12月第4週 各ユニット入浴時にゆず湯 12月15日 (日) もち4種 (あんこ・きな粉・すんだ・大根おろし) 提供 12/20 (金) ボラによるコンサート ロールケーキ提供 すいせんユニット行事

			12/23（水）ケーキ作り
	1月	新年会（家族参加）	1月11日（土） ちらし寿司・お吸い物 煮なます・苺ババロアを提供 ボラ余興 （大正琴・カラオケクラブ）
	2月	節分	2月3日（月） 殻つきピーナツで豆まき

※その他、本人希望に応じて個別にお誕生日祝いを実施しました。

看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の健康管理	① 入居者の状態変化に注意し、異常の早期発見と早期対応に繋げることができました。 ② 介護職との情報交換について機会を多く持ち、入居者の健康状態の把握・調整に努めることができました。
(2) 嘱託医との関係強化・継続	① 嘱託医と連携については、入居者の体調不良時の対応として情報の行き違い等がは起きてしまうことがありましたが、情報の伝達方法を変えることで改善することができました。適切な医療へ繋げるために今後も連携について意識しながら行っています。
(3) ご家族との関係づくり	① ご家族来苑時、面会の邪魔にならない様に配慮しながら声掛けし、気軽に相談出来る関係を構築するよう努めました。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 週 1 回のリハビリ	① 週 1 回の実施になりますが、入居者の状況に合わせて対象者を選定し、リハビリを実施しました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 充実した施設生活の提供	① 社会資源の活用を行い、定期的なボランティアの受け入れを実施しました。 年間回数 185 回 延べ人数 209 人 ② 定期的な外出は行えませんでした。毎年お連れしている地域の夏祭りや敬老会へ参加することが出来ました。
(2) 入院者の病状確認	① 水曜日からずれてしまうことがありましたが、定期的に入院者への面会を実施し状

認	態確認を行いました。また、看護師や相談員と面会時や電話にて状態確認を行い退院支援を速やかに行いました。
(3) 稼働率維持・向上に向けた取組み	<p>① 入院者が定期的に見られた影響も大きく、年間の稼働率 96.9%となり、目標は達成できませんでしたが、ほぼ目標に近い稼働率を維持できました。</p> <p>② 入院者等で出た空きベッドを利用し年間延べ人数7名、日数69日間の空床ショートステイの受入れを実施しました。</p> <p>③ 居宅のケアマネジャーや包括の職員に都度、申込みの案内をしました。また、電話でのご相談や施設見学を積極的に行うことで入所申し込みに繋げました。</p>

委員会

・サービス向上委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 口腔ケア体操	① 食事時の誤嚥防止や嚥下をスムーズに行えるようにする為の口腔体操を小規模のみ実施しました。実施の為の図の作成はできませんでした。
(2) 入浴について	<p>① 入浴設備の点検と品等確認をしながら、入浴に関する事項の検討を行いました。</p> <p>② 入居者の安全、安心のある入浴方法を見つけ職員と話し合いを実施しました。</p> <p>③ 実際に浴室を使用し入浴事故防止研修を実施しました。</p>
(3) 食事について	<p>① 検食簿の未記入の管理を行い、記入忘れがなくなるよう周知しました。</p> <p>② 食事形態について職員との話し合いの場を持ち入居者に合わせた食事形態にて食事を提供しました。</p>

・衛生委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 感染症対策	<p>① ロールプレイング形式で行うことができなかったが新人職員に対して用具の説明や処理方法を伝えました。</p> <p>② 備品の消耗が少なく特に発注することはなかったがアルコール類は尽きないようにしました。</p> <p>③ 過去の対策から医務と検討しながら対策と評価を行いました。施設全体でも換気への意識を持つための声掛けをし、予防の徹底を行ってきました。</p>
(2) 情報共有	<p>① 医務と連携して流行情報を都度調べて情報共有しました。</p> <p>② 本体施設の衛生委員会の内容を必ず確認し会議内容に加えるべき題材は会議に挙げて話し合いました。</p>

・事故発生防止委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体ケア	① 表皮剥離・アザ等の職員の介助による怪我について発生しやすい入居者や部位を調べはしましたが、今後起きないようにどのように職員に周知していくことについては課題として残りました。
(2) 情報共有	① 報告連絡相談をしっかりと行い、医務・特養・での情報共有をおこない対応を検討できました。

・整容委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 備品管理	① 管理課と協力し物品の不足がないように連絡調整を行いました。 ② 物品ごとの使用量・発注頻度を調べて一覧表にし、管理課による発注する体制を作ることができました。
(2) 車椅子清掃	① 食後すぐに汚れをふき取ることにより、汚れが多くたまることを防ぎました。 ② 委員が定期的に清掃については夜勤の時間を活用することで実施しました。汚れの多い車椅子を集中的に行いました。

・排泄委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 排泄ケアの統一	① 新入職員をメインに白十字アドバイザーの研修機会を作ることができました。ですが、白十字アドバイザーに相談する機会はあまり多く持てなかった代わりに、自分たちで話し合い使用用具の再検討と排泄時間の見直しはこまめに行うことができました。 ② 排泄表は随時変更し常に新しい排泄表での時間で介助に入ることができました。一部職員の中では決まった時間以外の介助や、違うパッドの使用が見られたため、ケアの統一の周知不足が考えられます。ですが、その中でも失禁させてしまう回数が減少し、入居者への不快感や職員の業務内容の負担軽減につなげることができました。 ③ 夏・冬と年2回の尿測を行うことができました。また年に2回以外にも新規入居者、退院者、体調不良者等も尿測することができ、個々の排泄パターンを把握することができました。 ④ 常に新しい排泄表を一覧にして貼り出すことができました。表を見れば誰が介助に入っても一目でわかるように作成することができました。 随時、見直し・変更も行うことができました。
(2) パットの当て方	① 新入職員には入居者一人ひとりに合わせたパットの当て方を教えることができまし

(3) 羞恥心に配慮した介助

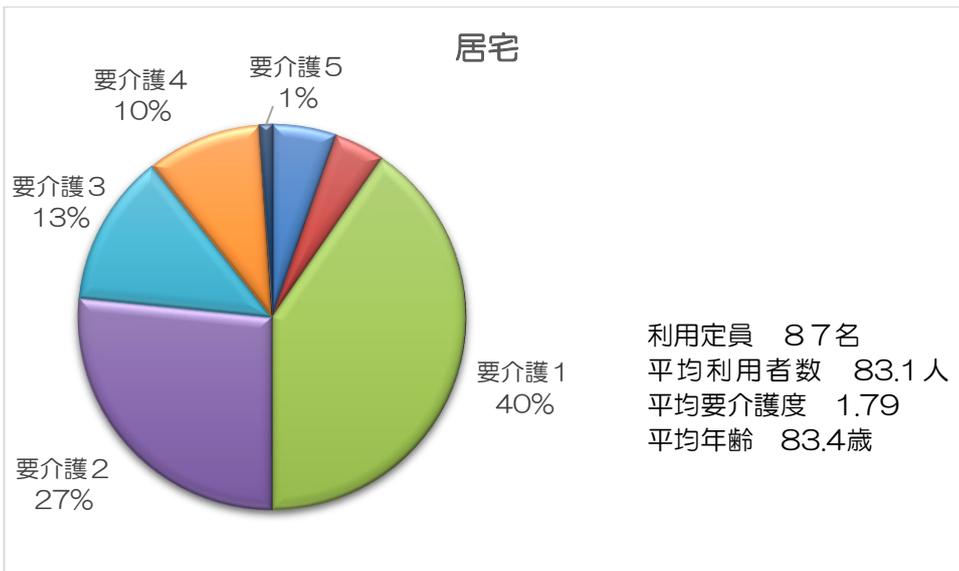
た。しかし職員全員に再度周知する機会を作ることはできませんでした。
パッドが正しく当たっていることによるメリットの説明については特定の職員に絞り実施しました。それにより失禁回数の減少・大きな皮膚トラブルを防ぐことができました。

- ① 居室・トイレのドアを必ず閉めて介助に入ることができました。またエコバックを使用し、入居者の方のプライバシーに配慮して排泄介助に入ることができました。
- ② 特に下剤追加者やその日の排便状況を他入居者の前で喋ってしまうことが多々見られことが課題として残りました。

排泄表に関して一部職員には他入居者が見える所へは置かないよう声をかけることができ、羞恥心に配慮することができました。

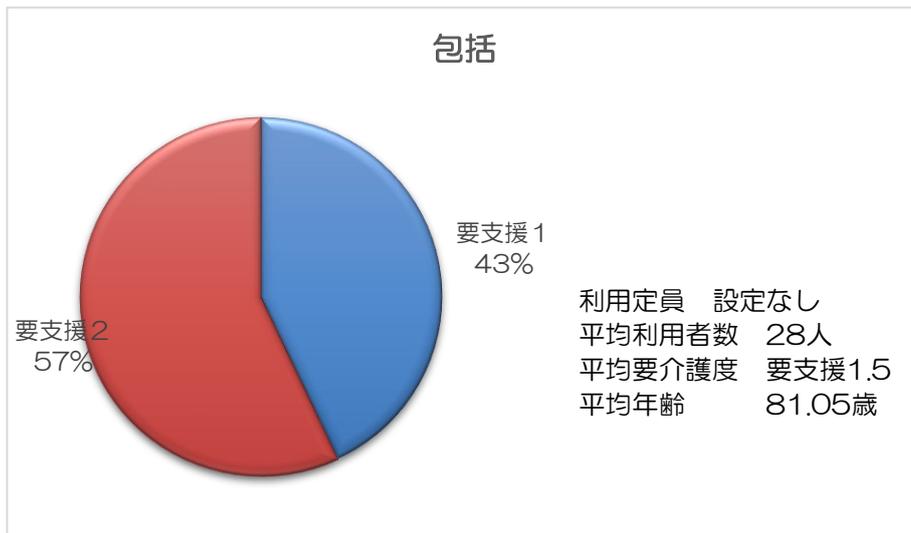


居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメント業務	① 本人、家族の意向を確認し、ニーズに合わせ自立した生活が送れるようケアマネジメントに努めました。 ② 担当者会議を通してサービス事業所、家族と情報共有し、サービス向上に努めました。
(2) 医療・介護連携	① 入院時、退院時のカンファレンスを含めた情報共有を31件行いました。スムーズに在宅生活へ移行ができるよう医療、介護の連携に努めました。
(3) 作成率維持・向上に向けた取組み	① 91件の新規利用者を受け入れ、年間延べ997件の給付管理をしました。91.1%稼働ができ、目標稼働率を達成しました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしくできるよう、身近な相談窓口として機能できるように努めました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護についてできるだけすみやかに対応しました。また権利の侵害がおきないように周知活動を実施しました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネサロン「クラージュ」を開催しました。またケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ② ケアマネジャーからの相談に対し、解決につながるまで寄り添い支援しました。
(4) 介護予防ケアマ	① 自立支援と介護予防の観点から、在宅生活を支援していけるように介護予防ケアマ

ネジメント	<p>ネジメントを適切に行いました。</p>
	<p>② 上記取り組みを実施し、月平均で60件の自プラン作成を目標に取り組みましたが、ケアマネジャーの変更や介護認定の重度化による増減があり平均28件程しか行えませんでした。</p>
(5) 医療・介護連携	<p>① 中重度の要介護者や医療ニーズの高い要支援者等が在宅で生活できるよう、医療・介護連携を強化しました。医師会主催の研修への参加・協力、ケアカフェでの関係づくり、認知症初期集中支援チームへの関わりなど、積極的に参加しました。</p>
(6) その他	<p>① 地域ケア会議 利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議、地域ケア個別会議に取り組みました。 地域での課題把握やネットワーク作りのために地域ケア圏域会議に取り組みました。 新型コロナウイルスの感染症拡大防止に伴う措置により個別会議と圏域会議の3回目は中止となりました。</p> <p>② 認知症地域支援 認知症を患っても安心して慣れ親しんだ地域で生活できるよう、支援するとともに、地域での理解を促すための啓発活動を行いました。</p> <p>③ 生活支援体制整備事業 市や社会福祉協議会と協力し、2層協議体創設への取り組みに協力しました。</p> <p>④ 介護者教室・介護者サロンへの支援 介護者教室を開催し、介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、また介護負担の軽減につながるよう支援していきます。 介護者サロンつばやきカフェへ専門職のアドバイザーとして参加し支援しました。</p> <p>⑤ 地域行事への参加・協力 地域包括支援センターとして地域のネットワークに積極的に参加していくとともに、法人職員として地域に根差した施設であるための活動に協力しました。</p> <div data-bbox="486 1556 1013 1937" data-label="Image"> </div>

6 栄養課

総合目標及び課題

・安心安全、美味しい食事

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 計測を確実に行う	① 3つの計測（量・温度・時間）を確実にを行い、調理をおこなった結果、出来上がりの味の濃い薄い等も少なくなり、料理品質の均一化が図れました。
(2) 利用者に喜ばれる行事食の提供	① 年間行事計画に沿い、行事食を提供してまいりました。行事の開催時期等の変更もありましたが、利用者様を第一に考え行事食やイベント食の提供をおこないました。
(3) 利用者の健康管理	① 年4回栄養ケアマネジメントを行い、利用者の栄養状態が良好に保ち、また最期まで口から食事を摂ることができるように支援しました。





